

# かごしま検定～鹿児島観光・文化検定～

## 第4回かごしまグランドマスター試験

問1. カルデラを出現させた噴火によって大規模火砕流が噴出・堆積して、その熱と圧密で硬い岩石に変化したものが溶結凝灰岩である。これらの溶結凝灰岩の噴出源、時代が異なるために、鹿児島には多種多様な溶結凝灰岩が存在し、石の文化が開花した。鹿児島の溶結凝灰岩の「石の文化（公式テキストブックに書かれている建造物、磨崖仏や墓石などに限る）」について、200字程度（160字以上、240字以内）の文章で書きなさい。

但し、以下の3つのキーワードを使用すること。

※「加久藤火砕流」 「阿多火砕流」 「山川石」

問2. 本年で生誕200年となる「島津斉彬」について200字程度（160字以上、240字以内）の文章で書きなさい。

但し、以下の3つのキーワードを使用すること。

※「お由良騒動」 「集成館」 「照国神社」

問3. 薩摩焼、吉左右踊りの関連性とそれぞれの特徴を200字程度（160字以上、240字以内）の文章で書きなさい。

但し、以下の3つのキーワードを使用すること。

「島津義弘」 「白黒」 「紅白」

問4. 全国と比較した鹿児島県の産業構造の特徴について、200字程度（160字以上、240字以内）の文章で書きなさい。

但し、以下の3つのキーワードを使用すること。

「第一次産業」 「第二次産業」 「第三次産業」

問5. 下記の文章は、出水市などを中心とする北薩地域の観光について書かれたものである。前段の□部分の空欄を埋めるとともに、出水市のツル観光を提案（紹介）する後段の文章を自分で考えて完成させなさい。

《注意事項》

- ① □部分の地名や施設名等は正式な名称（漢字等）で記入すること。
- ② 後段部分は、150字程度（120字～180字）で記入すること。
- ③ 文中に、「もっとも多く飛来するツルの種類」「大まかな数」「休遊地名」の3つは必ず明記すること。

〔前段〕

鹿児島県の北西部にある出水市は、平成18年に野田町、□①町と合併して現在に至っている。出水市には九州新幹線とともに平成□②年3月にJRから分離独立した第三セクターの□③鉄道が通っている。出水市内には国の伝統的建造物群保存地域に指定されている□④武家屋敷群があり、約400年前から変わらぬ街路や武家門が落ち着いた景観を醸し出している。また、地区内を周遊する観光□⑤が運行されている。

〔後段〕

150字程度